【2020年　1月】　担当者　品目別コメント（対照期間1/1～1/31）

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
小菊	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	沖縄	台風の影響も少なく、例年通りの出荷となる見込み。色目によっては、偏った出荷となる可能性がある。谷間の時期に若干の品不足の可能性あり。 山形の入荷は年内でほぼ出荷終了となる為、出荷数量としては少量ある程度。
白菊	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	愛知・福岡 静岡・沖縄 外国	国内産地については、ほぼ昨年と同様の入荷を予定。作付面積は昨年と変わらない為、天候次第では前進したり、入荷が減少する。 輸入品については、相場次第での入荷となる。
黄・赤菊	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	沖縄・愛知 福岡・静岡	黄菊については、沖縄産が順調な生育となっている為、数量は昨年並を見込んでいる。 福岡産は9月の台風後に作付している為例年よりも時期が遅いので、昨年よりは若干の増加を見込んでいる。
ﾃﾞｨｽﾊﾞｯﾄﾞ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	愛知・千葉 外国	上旬は一部産地で年内出荷に間に合わなかった物が遅れての出荷となる為、品種により出荷数量多い物が出てくる。中下旬については今後の天候次第で状況変動するが、概ね順調な生育で、安定した出荷となる見通し。
SPﾏﾑ	上旬 △ 中旬 △ 下旬 ○	愛知・栃木 鹿児島・沖縄 外国	上旬は年内に間に合わなかった物の出荷もあるが、総じて上旬～中旬は愛知、栃木産は不安定な入荷で、特に上位等級は少ない。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
枝物	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	茨城・埼玉 静岡	主力品目のｺﾃﾞﾏﾘは、昨年に比べて上位階級が少し多めで推移しており、出荷量においては微増を見込んでいる。(1月6日からの出荷を予定) 他、ﾚﾝｷﾞｮｳ、梅、雪柳等の花物に関しては、例年並みを見込んでいるが、ﾚﾝｷﾞｮｳで一部、花飛びがみられる物もある。 また、埼玉県中心に高齢化が進んでおり、数量面で今後影響してくる見込み。
ｻｸﾗ	上旬 △ 中旬 △ 下旬 △	青森・山形 埼玉	主力産地の山形県産は昨年の豊作の影響もあり、昨年と比べると出荷量は減る見込みとなっている。また、促成のﾀｲﾐﾝｸﾞで1月初旬～中旬で出荷が途切れてくる見通し。 埼玉県産の河津桜は例年並みを見込んでいる。 青森県産に関しては、例年並みを見込んでいるが吹き上がりが遅く、多少の遅れが見込まれる。 ※今年は旧正月が例年に比べて早いので、旧正月用の注文はなるべく早めに御願いします。
ﾋﾍﾟﾘｶﾑ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	外国	特別天候の影響等はなく、例年並みを予定している。 今後出荷商社は増えないが、各商社新品種を開発中。
ｶｰﾈｰｼｮﾝ	上旬 △ 中旬 ○ 下旬 ○	国産	本来の発色になり、品質も徐々に良くなってくるが、数量面ではだらだら出荷となる。長さも伸び、茎も硬くなる為、上位等級が増えてくる見込み。
		輸入	南米産等の輸入品は例年並みの数量。 人員不足の為上旬はﾘﾊﾟｯｸ品減となるが、中旬位に徐々に通常出荷へと戻っていく見通し。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
ﾊﾞﾗ	上旬 ○ 中旬 △ 下旬	国産	西南暖地は赤系中心にやや増加傾向。下位等級少なく、上位等級中心の荷姿となる。 高冷地は休みに入る産地（新潟、山形寒河江、長野など）がある為、入荷は減少。商品も日射量不足により、樹が柔らかくなる為注意が必要。
	△	輸入	昨年同様の入荷見込み。特に本年度は『ｸﾗｼｯｸ』のｹﾆｱ産を注力集荷している。
ｵﾝｼｼﾞｭｰﾑ	上旬 △ 中旬 ○ 下旬 ○	輸入	台湾方面は冷え込みの影響で、数量は昨年を下回る見込み。「ﾊﾆｰｴﾝｼﾞｪﾙ」主体の入荷。
		国産	各産地、冷え込みの影響で数量は減少。
ｼﾝﾋﾞｼﾞｭｰﾑ	上旬 △ 中旬 ○ 下旬 ○	国産	生育の遅れにより年末に間に合わなかった商品が多く、昨年を上回る入荷が予想される。
ﾃﾞﾝﾌｧﾚ	上旬 △ 中旬 ○ 下旬 ○	輸入	ﾀｲ方面は「ｱﾝﾅ」「ｿﾆｱ」中心に安定した入荷。 ﾏﾚｰｼｱ産は白、「ﾙｰｼｰﾋﾟﾝｸ」等昨年並みの入荷。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
ｴﾋﾞﾃﾞﾝ	上旬 △ 中旬 △ 下旬 ○	国産	四国方面より、中旬から下旬の出荷開始となる。
ﾗﾝﾙｲ	上旬 △ 中旬 ○ 下旬 ○	輸入	ﾀｲ方面は｢ｶﾘﾌﾟｿ｣中心に、ﾓｶﾗ各色例年並みの入荷。
ｱﾝｽ	上旬 △ 中旬 △ 下旬 △	輸入	台湾産主体の入荷。凍傷のﾘｽｸが高く、出荷量は少ない見込み。
ﾊﾓﾉ	上旬 △ 中旬 △ 下旬 △	国産	八丈島はﾙｽｶｽが増加、ﾛﾍﾞは横這い、ﾚｻﾞｰﾌｧﾝは予約相対中心の出荷となる。 沖縄はｱﾚｶﾔｼ、ﾄﾞﾗｾﾅ類が減少。 千葉は入才は減少、ﾊﾗﾝ、ｿﾃﾂも少なめの入荷が予想される。
		輸入	ﾚｻﾞｰﾌｧﾝ、ﾄﾞﾗｾﾅ類、ﾓﾝｽ中心に安定した入荷を見込む。 ﾍﾃﾞﾗﾍﾞﾘｰの輸入品は完全な黒実となる。
鉄砲ﾕﾘ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 △	千葉・岐阜	年末の出荷をﾋﾟｰｸに、徐々に減少となる。 岐阜は年始の出荷が少なくなる。
		鹿児島	初旬は年末分の残りがあり、出荷纏まる事もあるが、徐々に減少。1月後半にかけては出荷量も多くなく、品薄となる見込み。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率(%)における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
オリエンタル	上旬 ○ 中旬	高知	土佐市より「ｶｻﾌﾞﾗﾝｶ」中心の入荷見込み。春野地区からは色物中心の入荷を予定。中旬以降球根切り替わり（北半球～南半球）の為、出荷数量落ち着く見込み。
	○ 下旬	九州	宮崎県より「ｶｻﾌﾞﾗﾝｶ」に加え、白系・ﾋﾟﾝｸ系品種の入荷見込みあり。
	○	千葉・愛媛	千葉県は、台風の影響あり一部生産者において今ｼｰｽﾞﾝ冬場の出荷が出来ない方あり（佐倉・田中氏、富浦・ｻｸﾏ氏）。他生産者は数量落ち着くものの、継続的に出荷あり。 愛媛県は「ｼﾍﾞﾘｱ」中心にﾋﾟﾝｸ系の入荷も見込まれる。
ｱｼﾞｱﾝﾃｨｯｸ LA	上旬 ○ 中旬 △	埼玉	埼玉は深谷から黄色・ｵﾚﾝｼﾞ中心に安定した数量の出荷となる。白・ﾋﾟﾝｸは少量の出荷となる見通し。
	下旬 ○	群馬	群馬は黄色・ｵﾚﾝｼﾞ中心となりﾋﾟﾝｸは少なめ、大きな山なく安定した出荷となる。
ﾁｭｰﾘｯﾌﾟ	上旬 ○ 中旬 ○	新潟	例年より少ない出荷予定だが、上旬は年末分の遅れた物もあり纏まる。下旬より八重咲きなど品種数が増加する。
	下旬 ○	埼玉・富山	埼玉は安定した出荷が続き、下旬より品種数が増加。 富山は作付増加、中旬より品種数が増加していく。
ｸﾞﾗｼﾞｵﾗｽ	上旬 ○ 中旬 ○	鹿児島	昨年並みの出荷見込み。紫・ｵﾚﾝｼﾞの色が作付け少なく出荷減。
	下旬 ○	輸入	初旬は出荷がほとんど無く、中旬から入荷増となる。 複色系の出荷は減少となる。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
アイリス	上旬 △ 中旬 ○ 下旬 ○	千葉	作付は2～3割減少となるが、安定した出荷が続く。
		大阪・新潟	大阪は、年末の遅れ分がやや纏まるが、安定した出荷を予定している。 新潟は上旬で出荷終了となる。
フリージア	上旬 ◎ 中旬 ○ 下旬 ○	茨城	年末出荷分に遅れが生じた為、上旬から下位等級中心に数量纏まる。黄色中心で紫・白は少なめ、八重やﾋﾟﾝｸなど流通量少ない色目も出荷が始まる。
		埼玉・静岡	埼玉は「ｱﾗｼﾞﾝ」など黄色中心の入荷となる。 紫・白は少なめで、下旬に八重などが一部出荷開始となる。
水仙	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 △	千葉	千葉は例年より生育遅れの状態が続いており、1月に関してもある程度出荷が見込まれる。短い物中心の荷姿。
		福井・群馬	福井も千葉同様で遅れが生じた分、天候面での問題がなければ昨年より出荷量増加する。 群馬のﾗｯﾊﾟ水仙に関しては年々出荷量減少しており、不安定な入荷状況となる。
カラー	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	千葉・愛知	湿地性は下旬に向け徐々に数量が増えていくが、昨年よりは少ない見通し。 畑地性に関しては、数量は多くないが各色安定的な出荷を予定。
		輸入	台湾産、ｹﾆｱ産中心の出荷となる。 台湾産は黄色・紫系中心、ｹﾆｱ産は各色の出荷を予定。 ﾍﾞﾄﾅﾑ産の出荷は2月を予定している。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
アルストロメリア	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	愛知・長野	各色数量増加していく。愛知は上位等級が増加へ向かい、赤・ｵﾚﾝｼﾞ・紫の出荷もあり。 長野は白・黄色・ﾋﾟﾝｸ中心の出荷となる。
		山形・茨城	数量は落ち着き、少量の出荷が続く。黄色・ﾋﾟﾝｸ・白が中心となる。
ﾀﾞﾘｱ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	長野・千葉	長野は「黒蝶」中心に大きな山なく安定した数量の出荷となる。 千葉は「かまくら」「ｱｼﾞﾀｰﾄ」など、業務向けの白・赤中心の出荷。
		福岡・宮崎	福岡は「ﾐｯﾁｬﾝ」「ﾚｲｺﾁｬﾝ」など、ﾋﾟﾝｸ系中心の出荷。 宮崎は"ﾅﾏﾊｹﾞｼﾘｰｽﾞ"など、多品種での出荷となる。
ﾗﾅﾝｷｭﾗｽ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	長野・静岡 千葉	昨年並の定植を予定している為各色安定的な出荷を予定。しかし長野の個選で、台風被害により本年出荷が出来ない生産者がいる為、一部特殊な品種の対応は厳しい。
		四国・九州	各産地安定的な出荷となる。 また本年は大分にて"ﾗｯｸｽ"の作付が増えている為、「ｱﾘｱﾄﾞﾈ」中心に安定的な出荷を予定している。
ｸﾞﾛﾘｵｻ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	高知	「ｻｻﾞﾝｳｨﾝﾄﾞ」中心に、中国の旧正月向けの出荷が増え、注文品以外のｾﾘ分が少なくなる見込み。
		愛知	黄色・複色を中心に昨年並みの出荷予定。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
ｱﾈﾓﾈ	上旬 △ 中旬 △ 下旬 △	長野	昨年同様「ﾐｽﾄﾗﾙ」中心の出荷となる。 生産者、作付数減少により全体数量は減少する。中輪系中心の出荷で、小輪系は少なめの入荷となる。
		千葉・福岡	「ﾃﾞｶﾝ」中心の出荷となる。 「ﾓﾅﾘｻﾞ」「ﾐｽﾄﾗﾙ」は生産減により減少。
ｽﾀｰﾁｽ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	和歌山	和歌山は生育安定しており、昨年より増加する見込み。
		千葉	台風被害の影響で、例年に比べ少な目の入荷が見込まれる。
ｱｽﾀｰ	上旬 △ 中旬 △ ○ △	福岡	昨年並にｽﾃﾗ系中心の出荷となる。
		大分	電照物中心の出荷で、下位等級は少なめ、上位等級中心の荷姿となる。
ｽｲﾄﾋﾟｰ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	神奈川 愛知	徐々に数量増加となり、品質も上がり上位等級がﾒｲﾝとなってくる。
		岡山	九州ほど天候が荒れないので、出荷数量は安定している。 出荷のﾒｲﾝは上位等級となり、数量纏まる予定。
		九州	天候次第ではあるが、徐々に数量は増えていく見込み。 上位から下位等級までﾊﾞﾗﾝｽ良い出荷が見込まれる。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
ｽﾄｯｸ	上旬 ▲ 中旬 ▲ 下旬 ▲	山形	年末硬めの出荷をする為、上旬はやや減る産地もあるが、中下旬は例年並に安定した出荷となる。
		千葉	台風の影響があり、数量が激減する見通し。
ｽﾅｯﾌﾟ	上旬 ▲ 中旬 ▲ 下旬 ▲	埼玉・千葉	台風の影響大きく、数量激減。千葉はほぼ出荷できない状況。 埼玉は例年並み。
		静岡・香川	静岡は台風の影響あり例年より少ない。 香川は例年並み。
ｶﾞｰﾍﾞﾗ	上旬 ○ 中旬 △ 下旬 ○	静岡	初市近辺は出荷量は纏まる。例年より改植率が低い為品種により出方にﾑﾗがあるが、12月よりは増える。
		他県	和歌山、千葉は安定した出荷。福岡は作付も減っており数量は少なめで推移。 宮城は例年並み。
ﾃﾞﾙﾌｨﾆｭｰﾑ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	愛知	ｼﾈﾝｼｽ系中心の入荷となり、青・水色が主体となる。 色物に関しては、出荷数量は少なめとなる。
		愛媛・九州	ｴﾗｰﾀﾑ系が主体となり、青・水色系がﾒｲﾝとなる。 白・ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰ・濃紫系は数量少ないが、安定した出荷が見込まれる。
ﾏｰｶﾞﾚｯﾄ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	香川	生育順調で、例年以上の出荷となる。
		静岡	伊豆で一部年明けより出荷予定だが、数量は昨年と比べてやや少なめで推移する見通し。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
ﾄﾙｺｷｷｮｳ	上旬 △	高知	ﾌﾘﾝｼﾞ系中心に例年並の出荷となる。
	中旬 ○	静岡	遅れている産地も多く、順次出荷となる。
	下旬 ○	福岡・熊本	出荷のある生産者も限られる為数量は少ない。
		輸入	定期的に安定した出荷となる。
ｶｽﾐｿｳ	上旬 △ 中旬 ○	和歌山	若干前進した生育だったが、概ね順調な出荷となる。
	下旬 ○	熊本	大きく前進開花だった事から、気温の推移次第だが、出荷の谷になる所が出てくる。
菜の花	上旬 △ 中旬 ○ 下旬 ○	千葉・愛知	千葉は一部台風の被害を受けており、上中旬は例年より少なめで推移し下旬より増加。 愛知、長崎は生育順調で、例年以上の出荷となる。
ｷﾝｾﾝｶ	上旬 ▲ 中旬 ▲ 下旬 ▲	千葉	台風の影響があり、数量激減。
ﾈｲﾃｨﾌﾞﾌﾗﾜｰ	上旬 ○ 中旬 △ 下旬 ▲	輸入	各商社10月、11月の赤字の影響から消極的な仕入れとなる。特にZA（南ｱﾌﾘｶ）産は例年よりｼｰｽﾞﾝ終了早く、数量少ない。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない

品目品種	出荷ウエイト予測	主産地	産地状況コメント
ｸｼﾞｬｸｿｳ	上旬 △ 中旬 △ 下旬 △	福岡	ブルー系のみ入荷がある状況。
		埼玉	『神川）埼玉ひびきの農協』中心に、白の品種が数量ある状況。
ｿﾘﾀﾞｺﾞ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	鹿児島	天候に左右されるが、例年並～やや少ない出荷が続く見通し。
ｿﾉﾀﾉｸｻﾊﾞﾅ	上旬 ○ 中旬 ○ 下旬 ○	静岡・福岡	豆の花、六条麦は安定出荷となる。 九州産の小花系は、定植時の雨の影響で生育が遅れている。 利休草は逼迫した状況続く見込み。 ｾﾞﾗﾆｭｰﾑ類は、台風の被害で数量少なめが続く。

※出荷ウエイト予測・・・昨年対比率（%）における上・中・下旬の出荷ウエイト予測。 ◎非常に多い、●多い、○中間値、△少ない、▲非常に少ない